



ユネスコ生物圏保存地

タンジュンプティン エコパーク

エコパーク とは？

生物多様性の保全と
社会の発展、研究支援を
強化する地域



インドネシア
ボルネオ島

中央カリマンタン州
タンジュン・プティン
国立公園内

タンジュン・プティン エコパーク

面積：4,160km²(千葉県：5,160km²)
泥炭湿地開発規制区域・ヒース林
ラムサール条約の湿地
原生林の65%が劣化している



0 10 20Km



2,030 km² 移行エリア

居住区
地域社会や経済発展が
図られる地域

2,646 km² バッファ
ゾーン

移行エリアと
コアエリアの
緩衝地帯

5,019 km² コアエリア

保護区域
人の活動が厳しく保護され
長期的に保全する地域

バッファ ゾーンとは？

コアエリアは人の活動が厳しく保護された場所に対し
バッファゾーンは教育やエコツーリズムのための地域

わたしたちが
できること



現状の
バッファ
ゾーンを
見てみよう



未来の
バッファ
ゾーンについて
話しあおう



聖地
キャンプ
リーキー
とは？

✿ I ♥ Tanjung Puting ! ✿



国際オランウータン財団



OFIについて知ろう!

1986年
アメリカ
ロサンゼルス
にて設立



OFI ▶ Orangutan Foundation International

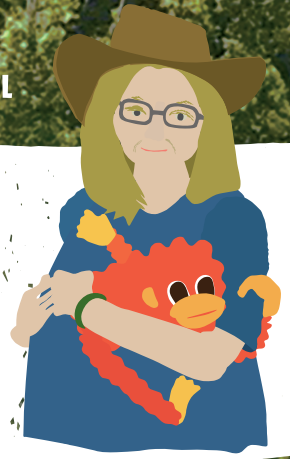
OFIを
造った人



ビルーテ・ガルディカス博士

ビルーテ・ガルディカス博士は大学生のときに人類学者のルイス・リーキー博士にオランウータン研究の計画を提案、彼やナショナルジオグラフィック社の援助で1971年タンジュンブティンにオランウータン研究のためにやって来ました。

現在では彼女の功績により、世界中のオランウータン好きが聖地キャンプリーキーを訪れるようになりました。



オラン
ウータンの
聖地



キャンプ・リーキー

クマイからクルーズ船に乗りセコニヤール川をしばらく上って行くと、森の中にビルーテ博士が造ったオランウータンの研究施設があります。ここの研究施設はリーキー博士の名前をもらい、キャンプ・リーキーと名付けられました。

リーキー博士はビルーテ博士以外にも、チンパンジーの研究者ジェーン・グドール博士と、ゴリラの研究者ダイアン・フォッシー博士の、2人の類人猿研究者を育てています。



オラン
ウータンの
保護施設



OCCQ オランウータン・ケアセンター Orangutan Carecenter & Quarantine

1998年ビルーテ博士が代表のOFIは、ペットや密猟などから保護されたオランウータンを野生へ戻すためOCCQを設立しました。

野生のオランウータンの赤ちゃんは7~9歳になるまで母親と一緒に暮らし、森で生きてゆく方法を教えます。

OCCQではスタッフが母親がわりになり、母と子の強い絆を再現しています。



オランウータンを
守る活動をしている団体
OFI

OFIについて
くわしく
見てみよう!



OFI
ホームページ



© mandī laut

Join
Us!

現地の人たちの要望に応え、「野生動物」と「ヒト」が共に暮らす持続可能な未来の森「ジャングルパーク」に苗木と植樹を皆さまの会費と寄付で行っています。ぜひ、あなたも「未来の森」づくりに参加してください。

年会費 3,000円 寄付・ドネーションは
<ゆうちょ銀行> 10930 19391011 特定非営利活動団体 マニスファンクラブ



MANIS FAN CLUB
一般社団法人 マニス ファンクラブ

〒240-0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内1440

Tel 0468763204

Mail manis@fcmanis.org

URL www.fcmanis.org

